

2025 年 1 月 20 日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

自己資金の不足や失敗のリスクへのおそれが起業のハードルに

～「2024 年度起業と起業意識に関する調査」アンケート結果の概要～

本調査では、起業した人を働く時間に応じて分析したほか、まだ起業していない人にも焦点を当てました。また、自ら事業を始めているにもかかわらず、事業経営者との認識をもたない人も、起業家と位置づけて調査しました。主な調査結果と調査の要領は以下のとおりです。

※本調査では、現在経営している事業に充てている時間が 1 週間当たり 35 時間未満である人を「パートタイム起業家」、同 35 時間以上である人を「起業家」と定義している。

< 主な調査結果 >

1 起業家、パートタイム起業家ともに、7 割以上が本人のみで事業を運営（本文 7 ページ）

現在の従業者数が「1 人（本人のみ）」との回答割合は、起業家が 74.1%、パートタイム起業家が 77.0%に上る（図－12）。

2 起業家、パートタイム起業家の多くが月商「50 万円未満」だが、採算は「黒字基調」（本文 14 ページ）

現在の月商が「50 万円未満」である割合は、パートタイム起業家で 90.2%と大半を占め、起業家も 64.5%に上る（図－29）。現在の採算状況が「黒字基調」である割合は、起業家（74.0%）、パートタイム起業家（75.2%）ともに「赤字基調」の割合を大きく上回る（図－31）。

3 起業関心層の約半数が「起業したい」と回答（本文 18、20 ページ）

起業関心層に起業の予定の有無を尋ねると、「10 年以内に起業する」（15.9%）と「いずれは起業したいが、時期は未定」（34.0%）を合わせた「起業したい」が 49.9%となった（図－39（1））。起業関心層がまだ起業していない理由は、「自己資金が不足している」の割合が 44.3%と最も高く、「失敗したときのリスクが大きい」（28.0%）、「ビジネスのアイデアが思いつかない」（25.2%）と続く（図－41）。

* 本調査の詳細につきましては、[こちら](#)をご覧ください

< 調査の要領 > ・調査時点：2024 年 11 月
・調査方法：インターネットによるアンケート
・調査対象：全国の 18 歳から 69 歳までの人
・回収数：3 万 4,946 人

< お問い合わせ先 >

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第一グループ TEL 03-3270-1687（担当：笠原、桑本）
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー